

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

◆実施日 令和2年12月1日

◆評価確定日 令和3年3月30日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 松澤主任 阿部夕貴 荒川敦子 武田佳代子
 畠澤政博 三浦彩香 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人	8人	2人	0人	12人

前回の改善計画	<p>アセスメントの時点で、登録者の性格や意向が事業所に少しでも抵抗が見られた際には、訪問サービスからの支援内容を提案し、安心して事業所を利用していただけるように配慮していく。また、このことはご家族に目的とサービス内容をきちんと説明し、理解をいただいた上で進めていく。事業所として、初期支援の関わりを大切にしていきたい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>登録者の性格や意向が事業所に少しでも抵抗が見られた際には、訪問サービスからの支援内容を提案し実践したことで、その後通いサービスや泊まりサービスを利用する事が可能となったケースがある。本人や家族の望むサービスを、段階を踏んで利用をできるように支援し進めた結果、信頼関係が構築されたと思われる。今後も初期支援時の関りを大切にし、本人や家族の抱えている心配事や不安を受け止め、利用する側のペースに合わせ段階的に解決して行くことが必要である。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	7	5	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	5	7	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	6	4	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	7	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用開始前に計画作成担当者がアセスメント実施し、本人のADLや生活状況について聴き取りし課題分析票を作成している。作成した課題分析票をもとに、ミーティング開催し職員間で情報共有し周知している。サービス利用開始時に、まずは必要な支援が何であるかを意向やニーズから汲み取り、必要な支援を提供できるように努めている。利用に慣れていない方に対して、職員から積極的にコミュニケーションを図るようにし、不安の軽減を図っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>家族や介護者の不安や心配事については、送迎時や電話連絡の際に随時確認し、可能な限り解決できるように努めているが、長期的な泊まりサービスを利用されているご家族や遠方に居られる家族に対しては、関係作りの点で配慮不足であると感じる。また、本人と家族の意向に相違がある場合の対応について、双方満足できる対応ができていないと思われる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>長期的な泊まりサービスを利用されている方の家族、または遠方に居られる家族に対しても、より情報交換や意見交換する場を設けていく。本人と家族の意向に相違がある場合の対応について、「本人を支えるため」の支援内容を明確にし、本人・家族の両者が満足できるサービスを提供できるように努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 4 日 (13 : 30～14 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 松澤主任 高井副主任 阿部友貴 北林香奈恵
佐藤正子 鈴木美喜子 武田佳代子 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	8人	1人	0人	12人

前回の改善計画
介護計画書については、職員間で情報が共有できるよう写しをとり確認印を押印することで共有の漏れを防止していく。職員の意見等の発言については、個々より意見をもらうよう環境づくりに努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
介護計画書については、写しをとり確認印を押印する事で共有の漏れを防止できている。また、毎月登録者一人ひとりのモニタリングを実施し記録に残す事で、情報交換と共有をすることができている。職員の発言については、環境作りに努めているものの、個人差がある状態である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	8	1	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7	3	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	9	3	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	0	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月、登録者一人ひとりの介護計画書を確認し、本人・家族の意向や目標について把握できるようにしている。また、本人との日々の関りの中で、本人の言動や行動から考えられる思いについて、ミーティングやモニタリングカンファレンスで発言し、新たな対応方法を職員間で考案している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の目標に対する関りや、ミーティングでの発言については職員によって差が出ている。理由としては、今年度異動してきた職員が数名おり、登録者との関わりがまだ薄いと感じている職員もいる。ミーティングでの発言についても、発言しやすい環境作りに努めているが、職員によっては感じ方に違いがあるようである。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
本人の目標については、毎月のモニタリングカンファレンスを通して、各職員が理解を深めるように今後も継続していく。日々の関わり方については、目標に沿ったケア提供や関わりができる様に、異動してきた職員に対しては指導や助言を徹底して行く事と、ミーティングの場では発言しやすい場作りになるように、さらなる見直しをしていく。結果として、日々の関りから新しい対応についても随時実施できるように努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 8 日 (13:30 ~ 14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 松澤主任 高井副主任 荒川敦子 佐藤正子
鈴木美喜子 三浦彩香 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画
「以前の暮らし方」については、定期的 (1 ヶ月に 1 回) にアセスメント票を確認することで把握に努めていきたい。本人の声にならない声を言語化していくことについては、これまでの対応のほか利用時の表情やしぐさ等も記録に取り入れ、カンファレンス等を活用していくことで心情の言語化に繋げていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果
「以前の暮らし方」については、ミーティングやカンファレンスの中で情報交換をする機会はあるが、アセスメント票を定期的に確認する作業は不十分である。「本人の声にならない声の言語化」については、表情や行動から本人の思いを汲み取れるように努め、記録に残したりミーティング等を活用し情報の交換や共有に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	5	6	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	6	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	7	2	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	7	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	11	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人の状況に合わせた介護については、介護技術委員会 (食事・排泄・入浴委員会) を立ち上げ、毎月委員会を開催し現況確認と見直しを実施し、個々に応じたケアの提供に努めている。本人の気持ちや体調の変化には、本人との関りの中で小さな変化にも気付く事ができる様に努め、気づいた事項に関しては随時ミーティング等で情報交換・共有し、新たな対応方法を検討している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	「以前の暮らし方」については、アセスメントの際に本人・家族からの聴き取りを行い課題分析票にこれまでの暮らし方について記載はしているものの、定期的な確認はできていないため、各職員が 10 個以上把握できていないといった結果に繋がった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	「以前の暮らし方について」は、課題分析票を定期的に見直し確認する作業を定着できるように努めていくことで、以前の暮らし方を把握し本人のこれまでの暮らしを可能な限り継続できるように支援して行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 9 日 (13:30 ~ 14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松澤主任 高井副主任 北林香奈恵 鈴木美喜子 畠澤政博 三浦彩香 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	4 人	0 人	12 人

前回の改善計画	独居生活者を中心にある程度の時間帯の把握ではなく、詳細の生活リズムを把握していくために訪問サービスの回数を増やしていくことのほかに、電話での確認等も取り入れて 24 時間 365 日の支援を更に深めていきたい。民生委員については地域包括支援センターより、最低、登録者の自宅の分は情報をいただき必要時に活用していけるよう把握に努めていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問サービス回数を増やし、個々の生活リズムを把握できるように努めてはいるが、24 時間 365 日のサポートには不十分な点もある。また、民生委員の把握についてはまだまだ足りていない現状である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	2	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	9	0	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	6	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	7	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事前面談の際に、これまでの暮らしぶりや人間関係について聴き取りし課題分析票に記載する事で、情報共有に努めている。その中で、家族や親族または地域住民の方との関りや関係性が途切れないように、事業所として関わり支援できる部分と、家族や親族または地域の住民として関わり支援できる部分を明確にし、共に協力して支援できる体制作りを努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所が直接接していない時間の把握については、以前より訪問回数が増えたことで通いや泊まりがない日の自宅での暮らしぶりを把握する事が少しずつはできてきているが、24 時間 365 日のサポートとなると不十分である。地域資源の活用としては、配食サービスや食材の宅配サービスの活用は必要な方にできているが、その他の地域資源の活用はできていない。民生委員の把握もほぼできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
前回の改善計画でもあった民生委員について、包括支援センターより情報を頂き把握できるように努めていく。地域資源の活用についても情報収集していき、地域とともに生活を継続できる支援体制を構築していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 12月 14日 (13:30~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松澤主任 高井副主任 北林香奈恵 鈴木美喜子 武田佳代子 澤田道代 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	3人	2人	12人

前回の改善計画	地域包括支援センターより情報をいただき、近隣地区のサロンや認知症カフェに参加し地域住民と交流する機会を増やして。また、日々の変化についてもミーティング等を活用し職員間での情報共有に繋げることを継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域に出向き地域住民と交流する機会を設ける事ができない状況であった。日々の変化については、毎日のミーティングやカンファレンスの時間で情報共有できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	4	3	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	8	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	8	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
その日、その時の本人の状態やニーズに合わせ、また家族のニーズに合わせた支援を提供できるように日々努めている。「通い」「訪問」「宿泊」サービスの利用に関しても、計画通りまたは急な要望に関しても可能な限り対応し、ニーズに合わせた柔軟な対応ができている。日々の「変化」についても、ミーティングを通して職員間で情報交換・共有ができている。小さな変化に気付ける力を身に着ける事ができるように、日頃から職員間で指摘し合っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の資源を使い、地域と協働した支援については、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から実施できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後の新型コロナウイルスの動向によるが、状況が落ち着いた際は、近隣地区のサロンや認知症カフェ、地域行事に参加し地域との関わりを保ちながら生活が継続できるように支援して行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月14日 (14:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 松澤主任 高井副主任 北林香奈恵 鈴木美喜子 武田佳代子 澤田道代 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	5人	6人	12人

前回の改善計画	地域包括支援センターに、当事業所が関係する会議が開催される際には、参加させていただきたい旨を今後積極的に伝えていく。参加していくことで、地域の現状や課題が把握できる他、当事業所が地域に理解していただける場ともなることが期待できる。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から各会議や活動が全面的に中止となっており、事業所としても感染予防の観点からボランティアの受け入れや活動等を自粛している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	0	0	10	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	0	12	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	1	11	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	1	11	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用開始前や退院前には、各専門職(医療・介護・福祉用具担当者)が集まり、今後どのように支援していくか担当者会議を適宜開催している。(新型コロナウイルス感染予防の観点から会議は中止し、電話でのやり取りや書面での確認となった時もあった)</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から各会議や活動が全面的に中止となっており、事業所としても感染予防の観点からボランティアの受け入れや活動等を自粛している。</p> <p>担当者会議については、開催しているものの会議に出席している職員が一定の職員のみである為、職員の捉え方で上記結果となっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>今後の新型コロナウイルス感染の動向によるが、感染が落ち着いた際は、地域のイベントに積極的に参加して行く事や、事業所でボランティアや地域住民の方々を積極的に受け入れる事で、地域に開けた事業所作りに取り組んでいく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 12月 17日 (13:30 ~14:00)

7. 運営

メンバー 松澤主任 阿部友貴 北林香奈恵 佐藤正子
武田佳代子 畠澤政博 澤田道代 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	6人	4人	12人

前回の改善計画	他のサロンの開催情報を収集し、両者同意の基で参加させていただき、相互理解を深めていきたい。また、地域包括支援センターが主催する会議へ積極的に参加し、事業所を知っていただくと同時に地域の現状と課題を把握し必要に応じてサービスに繋げていきたい。また、サロンやボランティアの開催場所を当事業所でも実施できることを更にアピールしていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から各会議や活動が全面的に中止となっており、事業所としても感染予防の観点から活動は自粛している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	1	8	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	1	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	2	4	5	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	1	5	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②について、普段から送迎時や電話連絡時にご家族から聞かれた意見や要望を職員間で話し合い、検討し見直しや改善に繋げている。	
④については、冬期間に除雪作業が困難な一人暮らしの高齢者宅に出向くボランティア活動に、事業所の職員が登録している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①については、職員間での個人差が大きい。	
③については、事業所玄関へ「ご意見箱」を設置しているが、前期同様に意見や苦情等は確認できていない。今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、運営推進会議も書面での情報提供となっており、改めて意見交換する場も実施できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「ご意見箱」の設置継続や、利用者・家族からの意見や要望に今後も可能な限り応えていくことで、事業所の質の向上を図っていく。また、事業所のより良い環境作りのために、職員自らが意見を提案し話し合う場を設け個人差を軽減できるように努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 12月 17日 (14:00 ~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松澤主任 阿部友貴 北林香奈恵 佐藤正子
武田佳代子 畠澤政博 澤田道代 金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	4人	4人	12人

前回の改善計画
定期的に地域包括支援センターの職員と情報交換 (2カ月に1回) を実施していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、会議等の自粛をしており定期的な情報交換の場は設ける事ができなかった。しかし、包括主体の配食サービスを利用されている方がみずきの家の登録者にもおり、電話連絡等で連携は図っている。また、包括からの依頼や紹介で地域で支援に困っていた方が、みずきの家の利用に繋がったケースも何件かある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	9	1	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	7	3	0	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	12	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	1	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①については、各委員会が中心となり事業所内で各研修会を開催し職員のスキルアップに繋げている。また法人内での研修会も実施しており、職能レベルに応じた研修会に参加している。②については、介護福祉士取得のための実務者研修への参加をしている。④については、介護事故防止検討委員会を毎月開催しており、ヒヤリ・事故について全件確認し、再発防止に取り組んでいる他、研修会も開催しリスクマネジメントに取り組んでいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会が確立されておらず、参加できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、外部の研修への参加については消極的であった。今後の感染状況にもよるが、職場外研修への参加も検討しながらスキルアップを図っていく。包括支援センターとの連携も継続し、地域に必要なとされる事業所になるように努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 12 月 20 日 (13:30 ~ 14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松澤主任・高井美和子・荒川敦子・武田佳代子・澤田道代・金谷晴美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	5 人	1 人	12 人

前回の改善計画
生年後見制度について、今後活用される方が登録された場合、スムーズに対応できるよう定期的に研修会を開催し職員の理解を深めていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果
成年後見制度について研修会は開催したものの、上記結果より研修会の開催回数を増やしたり、より分かりやすい内容での研修会を、今後開催する必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	1	0	0	12
②	虐待は行われていない	11	1	0	0	12
③	プライバシーが守られている	7	5	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	1	6	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	4	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②については、定期的に委員会を開催している他、研修会も開催し職員の理解を深めている。③④についても、研修会を開催し学習を深めている。本人の羞恥心を傷つけないようなケアについて、ミーティング等でも情報交換や情報共有している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④について、現在成年後見制度を活用している登録者がおらず活用していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
成年後見制度について、現在実施している研修内容を見直し職員の周知を図る事で、今後成年後見制度を活用される登録者があった際は、スムーズに対応できるようにしていく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 比内ふくし会	代表者	理事長 佐藤 剛	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人比内ふくし会は、特養・ショートステイ・デイサービス・グループホーム・訪問介護・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等、幅広く事業を展開しており、心のこもった介護や看護、機能訓練、食事の提供に努めている他に、共に助け合い、励まし合っていく人間関係を大切にしながら、利用される方々のことを常に中心に考える事業の運営に心掛けています。 みずきの家では、住み慣れた地域で生活し続けられるよう登録者やご家族の思いに沿ったサービスの提供に努めています。
事業所名	みずきの家	管理者	金谷 晴美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	8人

※出席者については、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、会議は中止し文書での評価となっている。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、会議や研修、行事、地域との関わり等について、積極的に取り組んでいくことで、サービスの質向上に努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内での会議や研修へは積極的に取り組み、サービスに質の向上に努めた。行事や、地域との関わりでは、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止や自粛となる事が殆どであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の改善計画に対して、事業所での取り組みが行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、サービスの質の向上に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 登録者やご家族、地域の方々が余暇時間を活用し、新聞や冊子を読むことができる図書コーナーの設置の他に、寛げる空間を提供できるよう、事業所内に観葉植物を装飾することで、安らぎのある場を提供していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内に観葉植物を装飾し、環境面の整備を図った。また、季節の花を飾る事で、登録者の興味・関心を導いている。 図書コーナーも設置したことで、興味のある方がそれぞれの好きな時間帯に読書をされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に添付した資料(写真)より、事業所内は居心地の良い空間となっていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書コーナーや観葉植物の活用の継続により、居心地の良い環境作りに徹していく。また、今年度事業所外へテラスを設置している為、今後は登録者や地域の方々に活用してもらい快適な生活を送って頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェやサロン、法人内(各事業所)の交流会に出向き交流を深める他、ボランティアの受け入れに関しても積極的に行い相互交流を深めていく。 地域包括支援センターと連携し、各地区における民生委員の情報を収集し、登録者が住み慣れた地域で暮らし続ける事が 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域との関わり(行事等)はほぼ中止となった。ボランティアの受け入れも中止している。 民生委員の情報収集については、未だ不足しているため今後も包括支援センターとの連携を図って行きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染予防のため、地域との関わり(行事等)はできていない。 ご家族からは、困りごとや心配事があった際に相談しやすいといった評価を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、地域交流を実施し地域との絆を大切にしていく。 民生委員や福祉委員の情報収集に努め、必要時に協働してもらう事で、登録者を地域全体で支えていける体制を構築していく。

	<p>できるよう体制を整備していく。</p>			
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会等の実施はないが、地域包括支援センター主催の会議等へ参加していくことで地域の現状と課題を理解していくことで、登録者の方々が今後も地域において安心した暮らしができるようサポートしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会の開催は無い。 ・包括主催の会議へも、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から出席していない。 ・地域に出向いた活動としては、感染予防を講じてアジサイや紅葉ドライブへ出掛け、地域との繋がりを維持している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあるが、ドライブへ行き地域へ出向いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、地域に出向いた活動を行い、地域住民との交流を図る他、事業所を知ってもらえる場も作っていく。 ・包括主催の会議等がある際は情報を頂き、参加の検討をしていくことで地域での現状や課題を把握していく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に相談を受けて、サービスの利用につながった登録者のサービス利用前と利用後の心身の変化や満足度について会議内で報告する機会を設け、それぞれの視点から意見をいただく。このことで、サービスの質向上に努めていきたい。 ・事業所内で開催した内部研修の報告を行い、提案や助言をいただき職員のスキルアップにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、運営推進会議を中止し文書での情報提供（利用状況や地域活動等）をしてきた。 ・事業所内での内部研修は実施したが、運営推進会議で報告する場は設ける事ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討の報告（情報提供）は無かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の新型コロナウイルス感染症の動向にもよるが、運営推進会議が実施可となった際は、事例検討の報告をすることで、様々な視点からの意見を頂きサービスの質の向上に繋げていきたい。引き続き、会議ではなく文書での情報提供となった場合でも、文書へ事例内容を盛り込んでいくことで、委員の方から意見を頂く体制を作っていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民へ今後も声を掛け、各訓練に参加していただくことで両者の理解と危機意識向上につなげていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、地域住民を交えた各訓練は実施できていない。事業所内や、同敷地内にある特養やグループホームとの合同訓練は実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での訓練の実施が不明である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、地域住民を交えた各訓練は実施でなかったが、今後は新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、参加して頂ける機会を設け、訓練をこなす事で災害時に迅速に対応できるようにしていきたい。 ・運営推進会議の場で、訓練内容についての報告を行い理解を深め頂く。

